

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
1	IV	1	(1)	こども未来館わくわく体験事業	市	子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するため、こども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、こども未来館まつり（11月）を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、不特定多数が参加する公募プログラム等は自粛し、職員等によるイベントを開催した。 ・気分だけでも・・・夏まつり！！わくわく！昆虫ミニ特別展 ・秋の昆虫ミニ音楽会 ・あじShiのあるクリスマス（後援） ・こども未来館まつり ・おはなし会、ワークショップ「マイ絵本づくり」	参加者数	4,367人	8,686人	評価不可	有	新型コロナウイルスの影響で、不特定多数が参加する内容を実施できず、同時期に職員等によるイベント（展示等含む）を実施した。展示等への参加者数もカウントしているため、参加者数は大幅に増加したが、当事業の本来の目的である体験活動の実施は大幅に縮小せざるを得なかったため、評価不能とした。今後も新型コロナウイルスの拡大防止を図りつつ、体験活動の実施に取り組む。	こども未来館
2	IV	1	(1)	エコホテルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターで施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネルの展示、環境啓発DVDの視聴などを実施する。	・施設見学、体験学習事業の内容を見直し、紙すき以外のリサイクル工作を実施。 ・親子工作会を7回、親子見学会を6回実施。2月に工場見学会を1回実施。	エコホテル利用者数	3,027人	2,203人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が前年度を下回った。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら利用者数増加を目標とし環境学習事業を実施する。	南部クリーンセンター
3	IV	1	(1)	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室	市（伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託）	親子で本市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を図ることを目的とし、夏休みの宿題解決や子どもと大人と一緒に地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場になると同時に、シビックプライドの醸成につながる場を創出する。	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室を、8月3日（月）、5日（水）、6日（木）、11日（火）、12日（水）、18日（火）の6日間、各1コースを開催した（各コース午前と午後2回）。総勢161名の親子が参加した。	参加者数	326名	161名	C	有	総定員170組に対し、95組の応募があった。 新型コロナウイルスによる外出自粛や夏休み短縮などの影響により、応募組数、参加者数共に前年度を下回ったが、参加者への満足度調査では、事業開始以来最も高い評価となり、伝統的ものづくりに対する理解や関心を深め、有意義な普及啓発事業になったと考えられる。 申込倍率やアンケート結果を基に講座内容等の改善を図り、継続開催することで、高松市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を進める。	産業振興課
4	IV	1	(1)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食料品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者数	1回当たり親子で15組参加して6回実施した。 実績は、76組（子ども86人、大人76人）となった。 応募者数：111組	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、参加人数を減らす等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	市場管理課
5	IV	1	(1)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鑄造・瓦製作体験学習を行う。	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため四番丁スクエア内の埋蔵文化財センター講座室で、鑄造・勾玉作り体験、夏休み親子講座等を、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、回数や人数を縮小して行った。また従来より販売していた研磨体験キットを利用し、新たに作り方を説明する動画配信を行い、来所せずに自宅等で歴史体験が楽しめるシステムを作成した。	体験学習参加者数	鑄造体験247人、瓦製作体験0人、勾玉作り体験134人、消しゴム製作体験26人	鑄造体験67人、瓦製作体験0人、勾玉作り体験20人、消しゴム製作体験0人、夏休み講座5人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として実施講座や定員を減らしたため、参加者数が大幅に前年度を下回った。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定である。	文化財課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
6	IV	1	(1)	親子文化財教室	市（高松市文化財保護協会共催）	小・中学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	「高松張子人形を作ろう！」8/10 「讃岐提灯を作ろう！」1/24	参加人数	92人	84人	B	有	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、広い会場で定員を収容人数の50%以下としたが、午前・午後の2部制を取り入れたため、前年度並の実績を保つことができた。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	文化財課
7	IV	1	(1)	香南歴史民俗郷土館子ども講座	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども講座を開催する。	手習草紙（書道教室）(8/5) ダンボールで獅子頭をつくろう(8/8)	参加人数	4講座 195人	2講座 21人	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講講座を減らしたため、参加者は前年度を下回った。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じて講座内容の充実や積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 （香南歴史民俗郷土館）
8	IV	1	(1)	夏休み子ども歴史講座	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、夏休み子ども歴史講座を開催する。	「高松ご城下井戸跡めぐり！」(8/1)	参加者数	13人	22人	A	無	好評であり、前年度を上回る参加者であった。今後も講座内容の充実や積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 （歴史資料館）
9	IV	1	(1)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を1回、「ふらっとアート」を7回開催した。	子どものアトリエ受講者数	実施回数7回 参加者数1,346人	実施回数8回 参加者数1,145人	B	有	5月末まで、新型コロナ感染症対策の為、「子どものアトリエ」、「ふらっとアート」事業が中止となり、実施回数及び参加者数が前年度よりも減少した。今後感染症その他の理由で同事業が中止になった場合の対策も兼ねて、5月より子ども向けの作品制作番組などを紹介する動画配信事業を続けている。	美術館美術課
10	IV	1	(1)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体（補助）	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	1件申請があったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から途中で中止決定。	実施団体数	3団体	0団体	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響で申請数自体が大幅に減少した。 令和3年度も同様の状況が予想されるが、感染対策を講じた上で実施予定。	生涯学習課
11	IV	1	(1)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加人数	約5,000人	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度も同様の状況が予想されるが、感染対策を講じた上で実施予定。	生涯学習課
12	IV	1	(1)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加校区数	男子12校区 女子8校区	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、開催時間を短縮する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	生涯学習課
13	IV	1	(1)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子ども達と市の子ども達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者へのアンケートによる満足度	95.5%	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、市子連（共催）及び早明浦湖水祭実行委員会（協力）と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を決定した。	生涯学習課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
14	IV	1	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会に対し、運営補助金を交付。	子ども会加入率	68.3%	69.4%	A	無	子ども会加入率について、前年度を上回ることができているが、年度当初に設定していた加入率の70%には到達できていない。 高松市子ども会育成連絡協議会の自主運営による子ども会活動の加入促進が図れる支援方法を検討する必要がある。	生涯学習課
15	IV	1	(1)	子ども会育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止。	参加校区数	27校区	0校区 (中止のため)	D	有	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、令和3年度も同じ状況が予想される。感染対策を徹底しながら実施などの方策も検討していく必要がある。	生涯学習課
16	IV	1	(1)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣時間：0時間 派遣回数：0回 2件申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	申請件数	10件	0件	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により申請数が前年度実績を下回った。 申請のあった2件については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施ができるように周知方法を検討する必要がある。	生涯学習課
17	IV	1	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	新型コロナウイルス感染症の影響で、授業時数の確保や学校行事等の見直しにより、職場を訪問しての体験活動は実施されなかった。事業所から人を派遣していただき、講話を聴く活動を実施した学校が数校ある。	実施学校数	中学校23校（全23校） 100%	中学校0校（全23校）0% (訪問実習校数)	D	有	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所等への訪問は、今年度も実施が困難であると思われる。事業所や校区の人材を活用した講話など、工夫した取り組みで、事業継続したい。	学校教育課
	I	1	(2)											
18	IV	1	(1)	水資源教育推進事業	市（県補助）	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水及び水資源に対する認識を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅事業」を実施した。	参加校数	中学校2校（全23校） 8.7%	中学校1校（全23校） 4.3%	C	有	市内の中学生が、関連施設等を活用した体験型学習を通して、水環境への関心を高め、節水や水質保全などの意識を高めることができた。	学校教育課
	I	1	(5)											
19	IV	1	(1)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数：3回	実施校数	6校	2校	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により申し込みが少なく、実施校数は2校となった。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	くらし安全安心課
	I	2	(10)											
20	IV	1	(1)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止した。	交流、体験学習に参加した中学生のうち子育てに関するボランティア活動を行った者の割合	5.10%	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止した。 令和3年度については、Web会議サービスを使用したオンライン形式での実施など、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	子育て支援課
	I	2	(10)											

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウィルス感 染の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
21	IV	1	(1)	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	市（委託）	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	実施施設 保育所・こども園 34施設 幼稚園 9施設	実施経験施設数	82か所	85か所	A	有	実施している施設についてアンケート調査を行っているが、概ね高評価である。 希望している施設全てに芸術士を派遣できていなかったため、令和3年度実施分からは希望している施設全てに派遣する予定	こども保育教育課
	I	2	(10)											
22	IV	1	(1)	こども未来館学習	市	こども未来館学習は、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響で、当館で実施するは希望する瀬戸・高松広域連携中核連携都市圏内小学校と高松第一小学校のみとし、市内小中学校希望校には、職員が学校に訪問して「出張！こども未来館学習」を実施した。	実施学校数	61校（瀬戸・高松広域連携中核連携都市圏の小学校8校、市内中学校5校含む。）	6校	C	有	コロナウィルスの影響で来館しての実施は少数にとどまったが、当館から各校に職員が出向いて行う「出張！こども未来館学習」を36校で実施した。来館しての学習は、科学展示室やプラネタリウム等施設を利用した体験的な学習活動が可能のため、今後はコロナウィルス対策を徹底した中で、出張ではなく当館において実施する。	こども未来館
	I	2	(10)											
23	IV	1	(1)	伝統的ものづくり学校巡回教室	市（伝統的ものづくり関係事業委託）	高松市の伝統的ものづくりに関する理解と関心を深める普及啓発、人づくりの推進を目的とし、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場であると同時に、未来を担う小中学生のシビックプライドの醸成・職業選択につながるもの、場を創出する。	伝統的ものづくりを行う職人を市内の小中学校へ派遣し、生徒が職人（香川漆器・庵治石・盆栽）の話の聞いたり、実際に作品を見たり簡単な体験をしたりする場をした。 訪問校 3校 生徒数 262名	参加者数	268名	262名	B	無	新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い、当初予定通り3校の小中学校にて開催した。 生徒の感想や、担当教師のアンケートから、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供するとともに、自分の住んでいる都市に対する「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられる。 開催学校担当教師のアンケートを基に改善を図り、継続実施することにより、高松市伝統的ものづくりの普及啓発を進める。	産業振興課
	I	2	(10)											
24	IV	1	(1)	学校巡回芸術・能楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団（委託）	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	小学校18校（内オンライン開催2校） 中学校5校 合計23校(27教室)	鑑賞者数	12,510人	6,122人	C	有	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、鑑賞者数を抑えての実施となったが、小中学生の文化芸術に対する好奇心の向上に寄与した。	文化芸術振興課
	I	2	(10)											
25	IV	1	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会（委託）	市内の小中学生を対象に、手作りでのものにチャレンジする機会を提供し、もの大切さを体験する。	小学校16校 中学校0校 合計16校（18教室）	参加者数	693人	644人	B	無	小中学生のものづくりに対する好奇心の向上及び、もの大切さの体験に寄与した。 講師の高齢化が今後の課題である。	文化芸術振興課
	I	2	(10)											
26	IV	1	(1)	サンクリスタル学習	市	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の来訪型の実施を中止し、主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の「サンクリスタル学習」出前講座を実施した。	実施校数	34校	10校	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来訪型を訪問型に変更したことからの、参加校は前年度を下回った。今後も同感染症対策を十分に講じた上で、講座内容や実施方法について見直しを行い事業の充実に努めていく。	文化財課 （歴史資料館 菊池寛記念館） 中央図書館
	I	2	(10)											
27	IV	1	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施した。	美術館学習参加者数	参加校 23校 延べ参加者数 1,129人 （引率者含む）	参加校 5校 延べ参加者数 212人 （引率者含む）	C	有	新型コロナ感染症の影響により、参加校数及び参加者数が前年度よりも大幅に減少した。今後、同事業の感染症等への対策を講じて開催する必要がある。	美術館美術課
	I	2	(10)											

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
28	IV	1	(1)	まなびCAN子ども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりやパソコン教室などを開催した。	参加者数	155人	109人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後も、ボランティア講師を積極的に募集し幅広く各種の講座を開催する必要がある。	生涯学習センター
	VI	1	(2)											
29	IV	2	(1)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	実施校区数は前年度から増減がなかった。 ・参加児童数 19,182人 ・登録児童数 2,053人 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期においては、事業の一部を中止した。	実施校区数	34校区	34校区	A	有	人材の確保・育成が課題であり、また、未実施校区においては、地域の関係団体を組織する構成員の高齢化等が課題となり、新規開設が困難となっている。今後とも、実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実を図るとともに、未実施校区の関係団体に対し、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る必要がある。なお、令和3年度以降も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底した上で、引き続き事業を行っていく。	子育て支援課
30	IV	2	(3)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	すべての小中学校における教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	100%	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として集合研修は実施できなかった。また、オンライン研修も実施できていない。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてオンライン研修を実施する予定である。	総合教育センター
	I	1	(4)											
31	V	1	(1)	掃除教育「ひかひかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	（こども保育教育課） 実施施設：幼稚園21園、こども園8園 月1回程度、園児が保護者や地域の老人会等と一緒に園内や地域の清掃をした。（新型コロナウイルス感染症防止のため、場合により、園児及び職員のみで実施。） （学校教育課） 幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行った。	（こども保育教育課） 実施幼稚園数 （学校教育課） 実施小・中学校数	（こども保育教育課） 幼稚園23・こども園6 （学校教育課） 小学校47校・中学校23校	（こども保育教育課） 幼稚園21・こども園8 （学校教育課） 小学校47校・中学校23校	A	有	（こども保育教育課）園児が自分で身の周りをきれいにする心地よさや有用款を味わうとともに、地域の人や保護者とのふれあいの場となった。 今後も継続していく。 （学校教育課）児童会、生徒会を中心に清掃活動を行うだけでなく、保護者や地域の方と一緒に実施することで、児童生徒の自主性や心の醸成につながった。	こども保育教育課 学校教育課
32	V	1	(1)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校が家庭や地域社会に働きかけ、学校や地域の実態に応じて定期的に実施。ただし、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、小・中合同での実施はできていない。	スマイルあいさつ運動 実施校数	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	A	有	児童生徒、教職員、保護者、地域住民が連携協力して、あいさつや声をかけ合うことを通じて、「節度ある生活習慣」、「礼儀」、「思いやり」、「感謝」等、豊かな心を育み、学校・家庭・地域社会を活性化していくことにつながった。	学校教育課
33	V	1	(1)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、幼稚園・第一高松高等学校には学校評議員会を設置するとともに、小・中学校には、高松市運営協議会を設置する。	高松第一高等学校には学校評議員会を設置。全小・中学校には、高松市運営協議会を設置し、900名を超える協議会委員を委嘱及び任命した。	各幼稚園、小学校、 中学校、高校	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	A	有	学校運営に関して高松市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んだ。	学校教育課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
34	V	1	(1)	高松型学校・地域連携システム推進事業	市	児童・生徒の健全な成長や学びを地域全体で支え、地域連携を中心とした教育活動の充実を図るため、高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置し、学校やPTA、地域住民、各種団体等との連携を図る。	全小・中学校に、高松型運営協議会を設置し、900名を超える協議会委員を委嘱及び任命した。	小学校・中学校	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	A	有	学校運営に関して高松市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んだ。	学校教育課
35	V	1	(1)	中学校運動部活動講師・部活動指導員派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。学校における部活動指導方針に沿い、部活動の指導全般、単独の指導、大会等への引率を行う部活動指導員を派遣する。	外部指導者4名、部活動指導員2名の委嘱・派遣を行った。	派遣希望学校(競技)数	7人	6人	B	無	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができ、また部活動指導員を派遣することで、顧問として指導、引率等の職務を行うことができた。	保健体育課
	I	2	(4)											
36	V	1	(1)	学校教育推進事業 (R1事業名変更)	学校教育活性化 推進事業実施校 (補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	全小・中学校で地域人材を活用した総合的な学習の時間を実施し、体験活動の充実が図られた。	地域人材の活用	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	A	有	全ての小・中学校で地域人材を活用し、児童生徒の体験活動の充実が図られた。今後、地域人材の安定的確保が課題である。感染症予防のため、人数を制限したり、時間を短縮するなど、これまで同様の活動は実施できていない。	学校教育課
	I	2	(10)											
37	V	1	(1)	地域に開かれた幼稚園づくり 推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	実施施設：幼稚園21園、こども園8園 園庭開放、園児と未就園児親子の交流活動、子育て相談等を実施した。 (新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、可能な限り実施した。)	実施幼稚園数	23園	21園	B	有	園が地域の未就園児が安心して遊ぶことのできる場所となったり、保護者の子育ての悩みを軽減できる機会となった。今後も継続していく。	こども保育教育課
	V	2	(1)											
38	V	2	(1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	サイトの情報更新・運営管理、ハンドブックの情報管理などを行った。 子育てハンドブック「たかまつらっこ」の情報管理及び発行(10,000部) 子育て支援総合情報サイト「らっこネット」の運営	たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」のアクセス件数	56,491件	73,733件	A	無	子育てハンドブック等の作成、情報サイトの運営を行うことにより、子育て親子への情報発信が図られた。	子育て支援課
39	V	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	次の基本事業を実施。 (1) 子育てで親子の交流の場の提供と交流の促進に関すること。 (2) 子育て等に関する相談、援助の実施に関すること。 (3) 地域の子育て関連情報の提供に関すること。 (4) 月1回以上の子育て及び子育て支援に関する講習等の実施に関すること。 委託：10か所 直営：2か所	開設か所数	12か所	12か所	A	有	利用ニーズの高まりに合わせて、開設箇所数を12か所設けており、地域の子育て支援機能の充実が図られている。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少しているが、感染予防に十分配慮し、利用者の安全性を確保した上で、事業を継続する。	子育て支援課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
40	V	2	(1)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	子育て相談件数	161件	191件	A	無	養育に不安をもつ保護者に対し、専門の相談員が、助言を行うだけでなく、適切な窓口や専門機関、利用できるサービス等を紹介するとともに、必要に応じて関係機関につなげることができた。 新型コロナウイルス感染予防のため、来所や訪問での相談だけでなく、メールやビデオ通話等を活用し、より相談しやすい体制を整備する必要がある。また、他の子育て相談窓口と連携することで、虐待等の予防、及び早期発見・早期対応につなげていく。	こども女性相談課
41	V	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市（委託、直営）	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所及び認定こども園に委託（旧センター型） 17か所 週6～7日開設 8,834千円×1か所 週5日開設 8,270千円×14か所、 6,774千円×1か所 小規模型 2,980千円×1か所 （利用者支援事業5日型 7,505千円×1か所）	実施施設数	17か所	17か所	A	無	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言などの支援を行うことができた。	こども保育教育課
42	V	2	(1)	地域子育て推進事業	市（委託、直営）	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所、認定こども園等 15か所 （委託料：1か所当たり500千円が上限）	実施施設数	18か所	15か所	B	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した施設もあるが、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に実施したことにより、育児相談や子育てサークル等に対する支援の充実につながった。	こども保育教育課
43	V	2	(1)	地域子育て推進事業	市（委託、直営）	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	・保育所年間10回、こども園12回開催。 ・在園（所）児と一緒に、施設の行事や集会、季節の遊びや思いにそった遊びに参加する。 ・保護者と一緒にふれあい遊びを楽しむ。 ・保健師等、講話を聞く。 ・育児相談、情報提供、入園（所）案内	実施施設数	市立保育所20か所 市こども園 6か所	市立保育所18か所 市立こども園8か所	A	有	・親子で参加しやすい雰囲気づくりや、育児相談の充実、親子で楽しめるような保育内容などを継続していく。 ・開催日、開催内容について地域への発信。	こども保育教育課
44	V	2	(1)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	保育所・幼稚園等において、児童や保護者を対象に、講話やエプロンシアター、紙芝居等を実施した。 市立保育所 5か所、市こども園 3か所、市立幼稚園 1か所 合計 9か所で実施	実施施設数	39か所	9か所	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた出前食育が中止する等して、前年度よりも実施施設数が減少した。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施する予定である。	こども保育教育課
45	V	2	(1)	はじめてのババママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	年44回実施 コロナ対策として、1回当たりの参加し組数を減らし、回数を増やして実施した。	参加者数	943人 (3回中止)	868人 (7回中止)	B	有	感染症対策を講じながら一定の参加者を受け入れられるよう回数を増やして対応した。引き続き、ニーズ把握に努め、感染症対策を取りながら実施していく。	健康づくり推進課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
46	V	2	(1)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業等の中で、「食」についての講話や関係資料の配付等を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業等の中で、集団での講話は中止したが、食育啓発資料の配付や個別に「食」について啓発を行った。	食育に関心を持つ人の割合	84.6%	83.5%	B	有	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として集団での講話を中止したため、十分な食育の啓発ができなかった。引き続き、感染対策を講じての食育啓発やホームページでの情報発信等を実施していく。	健康づくり推進課
47	V	2	(1)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行った。	来所者数	9,643人	11,522人	A	有	各種相談事業や個別相談で保健師又は栄養士が対応した。引き続き、栄養や子育てに関する情報提供と相談対応を行っている。	健康づくり推進課
48	V	2	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介するとともに、食の現状や課題への理解を深め、食の大切さを伝えるために、「食育セミナー」を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	食育セミナー開催回数	4回	0回	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施することができるか検討中。	保健体育課
49	V	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	就学時健診等を活用して、新1年生の保護者等を対象に子育て力向上応援講座を開設した。 ・小：学校説明会36、就学時健診47 ・市立幼こ：9 ・私幼：2 ・教育フォーラム：0	講座実施か所数	124か所	94か所	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催数が前年度実績を下回った。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施できるように周知、啓発内容等を検討する必要がある。	生涯学習課
50	V	2	(1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間：令和2年8月1日～31日 講師：町田 仁美 テーマ：イライラ子育てから笑顔の子育てへ～怒りの感情と上手に向き合う方法～	モニターによる満足度	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	予定どおり実施できたが、保護者の参加しやすい子育て力向上応援講座等で家庭教育を推進するため、令和3年度をもって廃止する。	生涯学習課
51	V	2	(1)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業（小・中学校）を実施 ・食育フェスタでの啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	朝ごはんを食べている子どもの割合（全国学力・学習状況調査 香川県公立小学校6年生）	85.2%	-	評価不可	有	令和2年度全国学力・学習状況調査は、学校の臨時休業の影響を考慮し、実施されなかったため評価不可。生活リズムチェックシートの調査結果によると、「就寝時刻」、「テレビ・ゲーム」、「朝ごはん」、「宿題・勉強・学習」の4項目について前年度の達成率を上回ることができたが、全体としては前年度に比べ達成率がやや低かった。今後も、生活リズムチェックシートを配布することにより、自分自身の生活態度を見直す機会を与える。また、子育て力向上応援講座等での啓発活動を行っている。	生涯学習課
52	V	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図るため、小学校等で開催した。	参加者数	11,687人	5,887人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後は、新型コロナウイルス感染症防止対策を行う中で、家庭教育学級の主催者が円滑に運営できる体制の構築を検討する必要がある。	生涯学習センター

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
53	V	2	(1)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレホン」を開設する。	相談件数39件	相談件数	54件	39件	C	無	それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。	少年育成センター
54	V	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本パックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	4か月児相談時に、絵本パックを贈呈し、ボランティアの協力により、読み聞かせ等を行った。また、4か月児相談に参加していない世帯には、保健師が家庭訪問時に絵本パックを贈呈し、計2,988名に絵本パックを贈呈した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月以降は読み聞かせを中断している。	絵本パックの交付率	95.10%	93.02%	B	有	転出者等もあることから、交付率を100%にすることは困難であるが、交付対象者の9割以上に絵本パックを贈呈できている。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、読み聞かせの再開の時期が不明である。	中央図書館
55	V	2	(1)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	2名の専門スタッフにより、相談電話を受けた。各事案に対しては、学校教育課、学校と連携し迅速に対応したことで、各校で早めの対応を行うことができた。	電話相談 窓口相談	26件	22件	B	無	相談を受けた事案について、重大事態に進展した事例がなく、ほとんどの事案が終息に向いている。	総合教育センター
56	V	2	(1)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	教育支援センターの児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	カウンセラー2名で教育相談を実施した。また、それ以外に年間2回の事例検討会、8回の親の会、その他通室支援検討会にスーパーバイザーとして指導助言を行った。(新型コロナウイルス感染症の影響により、検討会等の回数は減少した。)	教育相談実施回数	123件	141件	A	有	教育相談は継続的に利用する割合が多く、利用者の満足度は高い。親の会の内、2回は夜会としたことで、参加者のニーズに応えることができた。教育相談予約がすぐに埋まってしまい、希望があっても何週間か先ということもあり、改善が必要である。	総合教育センター
	I	2	(3)											
57	V	2	(1)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達を促進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	様々なイベント等の開催により、利用者数の増加を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は昨年度より減少した。 利用者数：29,950人	利用人数	49,424人	29,950人	C	有	新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底する一方で、開催イベント内容や情報発信の見直し等を行うことにより、利用者数の増加を図る。また、今後の利用者数の推移や老朽化の状況を見る中で、市全体の児童館の今後のあり方を検討する。	子育て支援課
	IV	1	(1)											
58	V	2	(2)	こども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築するために「地域子育て支援拠点部門会議」を開催。(2回)各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、打ち解けた雰囲気の中で互いのことを知り、意見交換できる場を提供するために「こども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(1回) なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、2回目の「座談会」を中止した。	年間会議開催回数	4回	3回	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の会議を中止したため、前年度比で開催回数については減少したが、全体としては子育て支援団体の相互交流、情報共有を図ることができた。 なお、開催回数のみでは適切に評価できないおそれがあるため、例えば開催人数とするなど、今後、指標の見直しを検討する必要がある。	子育て支援課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
59	V	2	(2)	子どもを中心とした地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協働することにより、団体の持ち味やネットワークを活かしなが、子ども及び保護者並びに地域の大人が関わる継続的な事業を実施することで、地域の住人が顔見知りになるほか、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運を高める。	【新規4団体】 ①花園（農業体験、地区運動会等）※中止 ②新塩屋町（宿題指導、そうめん流し等） ③古高松（田植え、キーホルダー作り等） ④高松第一（ふれあいまつり等）※中止 【継続4団体】 ⑤日新（ラジオ体操、防災教室等） ⑥三谷（農園体験、花栽培等） ⑦川岡（栽培収穫体験、しめなわリース等） ⑧亀阜（ラジオ体操、夏祭り等）※中止	実施団体数	(1) 地域交流事業 新規1校区、継続6校区 (2) 通学合宿事業 新規0校区、継続2校区	(1) 地域交流事業 ・新規4校区 （うち中止2） ・継続4校区 （うち中止1） (2) 通学合宿事業 令和2年度廃止	A	有	令和2年度は、申請数において、目標とする新規4団体・継続4団体を達成した。新型コロナウイルス感染症の影響により中止した団体もあるが、実施できた団体からは地域の一体感が生まれた等、満足度の高い意見が多くあった。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた実施団体の実績を紹介する等、周知方法を検討する必要がある。	生涯学習課
60	V	2	(2)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	研修会の参加人数	92人	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和3年度については、開催方法や内容を工夫することで開催できないか検討している。	コミュニティ推進課
	VI	1	(2)											
61	VI	1	(1)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネットワーク（委託）	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催した。 学習研修事業等（全45回） ・だれもがいきいきまちづくり講座（5回） ・人生100年時代を生きるベストライフ講座（全2回）など	学習研修事業の参加者数	2,034人	1,018人	C	有	外出の自粛や男女共同参画センターの休館等、新型コロナウイルスの影響により、開催回数、参加者数共に減少する結果となったが、一部オンラインで開催する講座を設ける等、新しい生活様式に対応した。コロナ禍においても、受講者の増加を図るための取り組みを行い、成果の向上に努める。	男女共同参画・協働推進課
62	VI	1	(1)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となった	男女共同参画週間中の参加者数	1,250人	実施なし	D	有	新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となった。開催する際は、周知等の取り組みを強化する等、参加者の増加を図り成果の向上に努める。	男女共同参画・協働推進課
63	VI	1	(1)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会（補助）	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、映画上映会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催した。 (11/21～12/6開催)	男女共同参画市民フェスティバルの参加者数（講演会、パネル展、ワークショップ合計）	2,134人	1663人	C	有	新型コロナウイルスの影響により、参加者数は減少する結果となったが、講演会を映画上映会に変更するなどの感染症拡大防止策を講じ、予定通り開催できた。また、映画上映会は、84人の参加者全員が「大変良かった」「良かった」と回答するなど、好評であった。今後も、感染症拡大防止に努めながら、参加者増加を図るために取組む必要がある。	男女共同参画・協働推進課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
64	VI	1	(1)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらつと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	ホームページ「ふらつと高松」、メールマガジン、フェイスブック及び機関誌「コラボたかまつ」等を活用し、情報発信を行うことができた。また、ケーブルテレビ「コミュニティチャンネル」に市民活動団体活動紹介チャンネルを設け、市民活動に取り組む市民自らが出演し、効果的な活動紹介を行うことができた。このほか、NPO法人との連携強化のため、本市が所轄庁となるNPO法人とのネットワークづくりをし情報発信を行っている。	ホームページ登録団体数	109団体	114団体	A	無	NPO法人にメールでの情報配信を行い連携強化が図れた。引き続き、市民活動センター機能の一つである「情報収集・発信」に取り組み、市民活動団体の支援の充実を図る。	男女共同参画・協働推進課
65	VI	1	(1)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねつと高松」を運営する。	地域の情報収集、発信、ネットワーク形成できる情報拠点として、運営をした。	ポータルサイトへの掲載団体	44団体	44団体	A	無	地域コミュニティ協議会からの情報発信によりネットワーク形成できる情報拠点として活用する事ができた。	コミュニティ推進課
66	VI	1	(1)	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加人数(組)	18組	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和3年度については、参加人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	くらし安全安心課
67	VI	1	(1)	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加人数	109人	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和3年度については、多重債務問題研修会を金融教育講座に変更し、参加人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	くらし安全安心課
68	VI	1	(1)	消費者ウイーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウイークに、各種啓発事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	入場者数	①3,000人 (市民のつどいと同時開催) ②40人 (記念講演会) ※①については、No.69事業と同じであるので左記評価については②のみを対象として行う。	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。なお、記念講演会は令和2年度から廃止となった。令和3年度については、パネル展のみ実施する予定。	くらし安全安心課
69	VI	1	(1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしをみなおす市民のつどい運営委員会	市と高松市消費者団体連絡協議会とで組織する高松市暮らしをみなおす市民のつどい運営委員会の主催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	入場者数	①3,000人 (消費者ウイーク事業と同時開催)	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和3年度については、パネル展のみ実施する予定。	くらし安全安心課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
70	VI	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	実施回数：2回(高齢福祉関係事業者・老人会等)	講座数	9回	2回	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により申し込みが少なく、講座数は2回となった。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	くらし安全安心課
71	VI	1	(1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼児、児童、生徒のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の換気、密の回避、手指のアルコール消毒、交通指導員の検温等の対策を行った上で、希望者（団体）に対して交通安全教室を実施した。	交通安全教室開催回数	1,945回	1,657回	B	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校の休校期間中に教室が実施できなかった。また、高齢者教室や地域団体の主催する交通安全教室の開催数が減少した。 令和3年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、実施する予定。	くらし安全安心課
72	VI	1	(1)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター、高松市人権啓発推進協議会（26年度以降、人権尊重都市たかまつ市民会議）	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回→中止 ○スマイルフェスティバルの開催 年1回→中止 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動 小学校6校配置	人権フェスティバル、平和と人権を守る市民のつどい（R1年度以降、スマイルフェスティバル）、ハンセン病を正しく理解する講演会参加者数	○人権フェスティバル 1,700人 ○スマイルフェスティバル 800人 ○ハンセン病を正しく理解する講演会 231人、パネル・作品展 1,598人	○人権フェスティバル 中止 ○スマイルフェスティバル 中止 ○ハンセン病を正しく理解する講演会 69人、パネル・作品展 569人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止した。また、一部の事業については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法を変更し実施した。 令和3年度については、開催方法を見直す等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していく。	人権啓発課
73	VI	1	(1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動 参加者数 延べ1,121人	人権に関する講座等の参加人数	8,282人	1,121人	C	有	人権啓発推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地域のイベント等が開催できなかったことにより、参加人数は減少した。今後も啓発活動を継続し、参加者の増加に努める。	人権啓発課
74	VI	1	(1)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	人権、同和問題指導者研修講座参加者数	参加企業500社 延べ1,023人	中止	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、開催方法を見直す等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していく。	人権啓発課
75	VI	1	(1)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい・映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭（11月14日）、高松空襲写真展（6月27日～7月8日）、高松市戦争遺品展（7月14日～20日）、戦争・原爆被災展（8月8日～14日）、教職員のための平和教育講演会（12月25日）、収蔵品巡回展（3月18日～3月30日）、小中学校での平和講演会（9月30日、2月3日） ○平和記念だよりの発行（4回）	平和記念館（仮称）入館者数、平和意識の啓発事業の参加者数	平和記念館入館者数 16,781人、平和意識の啓発事業参加者数 7,356人	平和記念館入館者数 6,995人、平和意識の啓発事業参加者数 4,533人	C	有	令和2年度は、入館者数・平和意識の啓発事業参加者数ともに新型コロナウイルス感染症の影響により減少した。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて多様な媒体での事業の周知、事業内容の充実や多数の参加者が望める場所での啓発事業を実施していく。	人権啓発課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
76	VI	1	(1)	公文書館管理運営	市	歴史公文書等の保存、利用及び調査研究並びに普及啓発を行う施設として公文書館を管理運営する。	・旧牟礼町現用文書整理及び歴史公文書等の移管 ・旧国分寺町現用文書の目録作成 ・高松市歴史公文書等の例年移管 ・公文書館利用促進（高松市市制施行130周年 高松市公文書館開館5周年記念企画展及び巡回展	収蔵資料数	【所蔵数】 特定歴史公文書等 91,154点 行政資料 11,683点	【システム登録件数】 旧牟礼町：8,763 旧国分寺町：35,730 旧香川町：23,186 旧香南町：15,195 旧塩江町：17,754 旧庵治町：1,124 高松市：34,600 企画展資料：21 寄贈資料：881 開架資料：11,600 【計 148,854件】	A	無	十分に成果が上がっている。 令和3年度以降も引き続き、旧合併町分文書を含めた文書整理を行い、歴史公文書等の保存、利用や普及啓発に努め、市民との共通の財産である公文書等の収蔵や保存保管、公開を行う。	総務課
77	VI	1	(1)	防災講演会	市	防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者等を講師に招き、防災講演会を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、会場・リモート視聴を併用して実施 講師：神谷 未生氏（リモート講演） 日時：令和3年1月12日（火） 午前10時～12時	参加者数	76人	会場 45人 リモート17人 合計 62人	B	有	県外から講師を招く予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、講師はリモート登壇、受講者は会場又はリモート視聴の選択制として実施した。昨年度よりも参加人数は減少したものの、減少率は2割弱程度に抑えることができた。アンケート結果を見ても、概ね満足度が高いと回答いただくことができた。令和3年度についても、感染状況を考慮し、適切に感染対策を講じながら実施する予定。	危機管理課
78	VI	1	(1)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる施策・事業、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、職員が地域へ出向き、説明及び情報提供・意見交換を行う。	テーマ数：161 実施件数：263件 参加人数：4,407人	市政出前ふれあいトークの実施回数	509回	263回	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、申込件数が減少し、申し込み後も中止が多く見られたことから、前年度に比べ約48%減少した。今後については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、十分に感染対策を講じた上で適宜実施する。	広聴広報課
79	VI	1	(1)	広報高松による情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日「広報高松」を発行する。	「広報高松」を月1回（1日）発行し、生涯学習に関する情報を含む、市政情報全般について広く周知した。	-	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	「広報高松」を月1回（1日）発行し、生涯学習に関する情報を含む、市政情報全般について広く周知する。	広聴広報課
80	VI	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	生涯学習情報を含む、市政情報全般について、トピックスやおすすめ情報と連携する等、効果的に情報発信を行った。	-	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	生涯学習情報を含む、市政情報全般について、トピックスやおすすめ情報の他、SNS等の情報発信ツールと連携し、効果的に情報発信を行う。	広聴広報課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
81	VI	1	(1)	高松いきいき大学事業	高松市老人クラブ連合会（補助）	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科（健康・文化・生活）の高松いきいき大学を開講する。	【健康学科】 受講者 40人 【文化学科】 受講者 32人 【生活学科】 受講者 37人 令和2年7月～令和3年2月まで、月に2回程度、講座や合同特別講座、課外学習などを実施。	受講者数	132人	109人	B	有	新型コロナウイルスの影響により受講申込が減少したが、受講者は講義、課外学習に参加することにより、知識習得、心身の健康保持、交流を通じた仲間づくりなど、地域福祉向上を推進するリーダーとしての資質を高めることができた。新型コロナウイルス感染予防のため、開講時期を変更したり、座席間隔の確保、換気など新しい生活様式を徹底し、慎重に対応する必要がある。	長寿福祉課
82	VI	1	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	①認知症の人やその家族等の生活を身近なところで支えている地域住民・学校・企業等の幅広い年齢層の住民等を対象に講座を開催。年度の後半は企業等では、オンラインで認知症サポーター養成講座を開催した。 ②認知症サポーター養成講座受講生のうち、認知症ボランティアとして活動したい方を対象に、認知症ステップアップ講座を開催し、認知症カフェなどでボランティアとして活動できるように支援していたが、コロナ感染症拡大防止のためカフェなどの開催についても難しくボランティア活動も難しいところもあった。	認知症サポーター数	認知症サポーター養成人数4,042人	認知症サポーター養成人数1,677人	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、認知症サポーター養成講座の開催自体の希望があっても中止となった。地域包括支援センターでは、オンラインでの講座に対応したため、対応できる講座団体から、オンライン講座を実施した。	地域包括支援センター
83	VI	1	(1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	主催講座5講座71人 自然観察1講座21人 出前講座14講座289人	環境学習、環境教育等参加人員	2,529人	381人	C	有	令和2年度前半及び夏休みは新型コロナウイルス感染防止のため、講座を中止した。その後、出前講座は主催者が開催を控えたり、参加人数を制限し、講座参加者数は前年を下回った。参加した市民を通して環境意識の向上は図られている。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	環境保全推進課
84	VI	1	(1)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	（公財）香川県国際交流協会等との共催で、令和2年10月11日～11月10日に「かがわ国際フェスタ2020」を開催した。約9,300人が参加し、国際交流への理解を深めることができた。	「かがわ国際フェスタ」参加者数	5,700人	9,300人	A	有	目標を上回る参加者数で、多くの市民が国際交流への理解を深めることができた。今後もイベントの開催を通して、国際交流・国際協力に携わる団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解を促進していく。	都市交流室
85	VI	1	(1)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会（補助）	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	ART SETOUCHIとして、一部の継続作品の公開を実施	来場者数	266,029人	-	D	有	令和2年度のART SETOUCHIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の屋外作品を除いて、継続公開が中止となった。今後においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を踏まえ、ART SETOUCHI及び瀬戸内国際芸術祭の在り方を検討する必要がある。	文化芸術振興課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
86	VI	1	(1)	市民文化祭	高松市市民文化祭 市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」 と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	アーツフェスタ鑑賞者数	7,978人	-	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、国等が示す感染拡大予防ガイドライン等に基づく対策を講じて実施予定。	文化芸術振興課
87	VI	1	(1)	デリバリーアーツ事業	公益財団法人高松市文化芸術財団（委託）	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	開催回数：全8回（内東かがわ市、綾川町各2回） 鑑賞者数：237人（内市外開催地106人）	デリバリーアーツ鑑賞者数	2,521人	237人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場提供や当日の事業運営に携わる協力団体からの辞退の申入れが多かったこと、実施開催できた場合においても、入場定員を制限しての開催となったため、鑑賞者数が前年度を下回った。（辞退した協力団体は、福祉施設や病院等） 令和3年度については、国等が示す感染拡大予防ガイドライン等に基づく対策を講じて、実施予定だが、いわゆるコロナ禍における開催について検討することが今後の課題である。	文化芸術振興課
88	VI	1	(1)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団（補助）	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催（補助）事業：7事業、入場者数1984人 共催事業：2事業、1232人	自主事業鑑賞者数	2,1388人	3,216人	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響を大幅に受け、入場者数は、主催事業で計画比59.6%、共催事業は計画6事業の内2事業の開催で、計画比66.1%であった。 新型コロナウイルス感染症が収束に向かわない限り最大鑑賞者数を抑制する配慮が必要であるため、鑑賞者数はコロナ禍前の水準に戻りにくい。 様々な形式の公演について、コロナ禍でも安心して開催可能な方策を確立する必要がある。	文化芸術振興課
89	VI	1	(1)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会（委託） 街クラシックinたかまつ実行委員会	芸術文化への関心を高め、中心市街地にぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	●TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 街角に音楽をフェスティバル：204人/生配信1,591人 ●sunport autumn jam ワールドダンスフェスティバル：173人/生配信2,648人 ●高松フラストリート：753人 ●街クラシックin高松：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ●たかまつ大道芸フェスタ：567人/生配信13,400人	まちなかパフォーマンス事業鑑賞者数	124,770人	19,336人	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業規模は縮小したものの、感染防止対策を講じながら4事業について実施し、市民の文化芸術への関心を高めることに寄与した。 コロナ禍における開催の在り方について検討することが今後の課題である。	文化芸術振興課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
90	VI	1	(1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26～)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で定員を設け事前申込制で1回のみ開催 テーマ：ガソリンカー廃線跡 遺構を訪ねる 日時：令和2年12月6日 9時30分～正午 場所：塩江町（屋外での開催）	参加者数	903人	28人	C	有	例年、自由参加型（事前申込不要）で年間10回実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、30人の定員を設け事前申込制で参加者を募って開催。1回のみ開催となったため参加者数が前年度を下回った。令和3年度についても、県及び市の新型コロナウイルス感染症の対応方針に沿って関係団体と協議し、開催を検討していく。	文化財課
91	VI	1	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果（遺構・遺物）を、現地で速報的に公開する。（毎年2～5回程度、不定期に開催）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として調査現場や修復工事現場の公開を控えた。	遺跡発掘現場等公開参加者数	国史跡平家墓所現地見学会 92人 国史跡石清尾山古墳群見学会 30人 高松城跡旭橋北側石垣解体修理工事見学会 180人	0回	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として調査現場や修復工事現場の公開を控えたため、実績が前年度を下回った。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定である。	文化財課
92	VI	1	(1)	出前（出張）埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財（高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等）について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	市内の埋蔵文化財（高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等）について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、講師依頼を受けていた各種講座は中止が相次ぎ、現地見学申し込み数も大幅に前年度を下回った。	出前（出張）埋蔵文化財事業参加者数	51団体 計1,806人	29団体 計1,060人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、参加者数が大幅に前年度を下回った。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定である。	文化財課
93	VI	1	(1)	企画展・常設展等展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設で展示するとともに、企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、資料を展示・紹介する。	常設展 収蔵品展「わがかがわ-スポーツにまつわるエトセトラ-」 第79回企画展「よどみなき讃岐の書-古と今をつなぐ-」 収蔵品展「花と植物のイメージ-自然界からのインスピレーション」	入場者数	24,892人	14,105人	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や展覧会の開催数を減らしたため、前年度を下回る入館者であった。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じて展示内容の充実等に努めるとともに、積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 （歴史資料館）
94	VI	1	(1)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回（8月～3月）、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年5回（9月～1月）講座を開催した。	参加者数	277人	186人	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部講座を中止したこともあり、参加者数が前年度を下回った。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じて講座内容を検討し、積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 （歴史資料館）
95	VI	1	(1)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	「石民落語会」（10/3） 「SWJOジャズライブコンサート」（10/18）	年間入場者数	458人	96人	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を減らしたことにより、前年度を下回る入館者であった。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じて内容等の充実や積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 （石の民俗資料館）

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
96	VI	1	(1)	文学展事業	実行委員会(負担金)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	第29回文学展 収蔵品展「作家の筆跡と菊池寛のキセキ」 R2.9.26(土)～11.1(日)(32日間) 菊池寛の直筆原稿、書簡、愛用品等の展示 ・ロビー展「文士とスペイン風邪～100年前のパンデミック～」 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関連行事は実施しなかった。	入場者数	2,518人	1,105人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関連行事を実施しなかったこと及び外出自粛等の影響により入場者数は前年度を下回った。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、関連行事を含め文学展事業を実施する予定。	文化財課 (菊池寛記念館)
97	VI	1	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により開始を6月から9月に延期し、3月までに予定の10回を実施。 9/12、9/26、10/3、10/17、10/24、11/7、11/21、12/5、1/30、3/6 各定員80名 13:30～15:00 サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール	講座参加者数	733人	401人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期を延期して実施したが参加者数は前年度を下回った。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、6月から3月までの期間に10回実施する予定。	文化財課 (菊池寛記念館)
98	VI	1	(1)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ協会	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	各種スポーツ教室	実施施設及び実施教室数	17施設 147教室	14施設 101教室	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響及び福岡町プール・西部運動センターの工事による休館等により教室数が減少した。 令和3年度については、募集人数を減らす、広い会場に変更する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	スポーツ振興課
99	VI	1	(1)	トリムの祭典	高松市民スポーツ・レクリエーション組織委員会	市民のスポーツ・レクリエーションに触れる機会として、トリムの祭典を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者数	約6,000人 (延べ人数)	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、規模を縮小する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	スポーツ振興課
100	VI	1	(1)	高松スポーツカーニバル	高松市民スポーツ・レクリエーション組織委員会	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加人数	8,761人	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	スポーツ振興課
101	VI	1	(1)	市民登山学校	市民登山学校	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため、講座・実技を開催する。	毎月1回の座学と山岳実技	参加人数	生徒数 106名 毎月講座1回 実技1回 特別実技3回	生徒数 100名 毎月講座1回 実技1回	B	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中断時期があったため、卒業式、開講式が2か月遅れとなり、新規生徒数を上限100名とした。 令和3年度より、市民登山学校事務局を公益財団法人高松市スポーツ協会に移管した。	スポーツ振興課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
102	VI	1	(1)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設（自主管理方式）と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行う。	中学校開放数	16校	16校	A	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約1か月半中止したが、その期間以外は概ね事業を実施することができた。 課題としては、毎年施設修繕が必要な箇所を改修しているものの、予算等の問題で対応できない部分もあるため、必要性を十分検討し、計画的な実施をしていきたい。	スポーツ振興課
103	VI	1	(1)	地域密着型トップスポーツ チーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールカード等を実施する。	スポーツ教室開催・保育園、小学校、中学校等訪問	参加人数	33,340人	35,230人	A	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ教室開催数が減少したチームもあったが、香川オリブカイナースが新たにスポーツ教室を開始したことから、全体の実績値は前年度より増加した。 今後もコロナ禍においても、可能な事業を継続していく必要がある。	スポーツ振興課
104	VI	1	(1)	高松スポーツ・健康感謝祭	高松市民スポーツ・レクリエーション組織委員会	市民参加型のスポーツ・レクリエーションイベント。スポーツ実施率の向上・健康増進・体づくりに寄与し、スポーツオプラインの構築を図り、日常的なスポーツ実施の有無・年齢・性別・障がいの有無、国籍など個人の特性や置かれた状況にとらわれない多様化の時代に即した、スポーツを通じた共生社会の実現を図る。（令和元年度より実施）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加人数	10,112人	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、規模を縮小する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	スポーツ振興課
105	VI	1	(1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設のJ利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	ネットワーク施設数	51施設	51施設	A	無	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行い、スポーツ施設利用者の利便性が向上した。 管理者側で画面がフリーズして動かなくなることが稀に発生する。現在、回線の容量を大きくするなどの対策を検討し、実施する予定である。	スポーツ振興課
106	VI	1	(1)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	絵本原画や浮世絵、現代美術など幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展5展・常設展4展を開催した。	展覧会観覧者数	55,585人	54,144人	B	有	新型コロナ感染症の影響によりGW中に臨時休館した特別展もあり、観覧者数が減少した。ただし「北斎展」は大勢の観覧者を迎えることができたので、今後、同事業の感染症等への対策を講じて開催する必要がある。	美術館美術課
107	VI	1	(1)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を2回開催した。	コンサート参加者数	693人	70人	C	有	新型コロナウイルス感染症対策の為、ミニコンサートの開催を中止したり、開催した場合も定員数を下げるなどした。友の会主催のコンサートは中止となったことから、参加者数は大幅に減少した。今後、同事業の感染症等への対策を講じて開催する必要がある。	美術館美術課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
108	VI	1	(1)	成人式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	新型コロナウイルス感染対策のため、3部開催とし、1回あたりの参加者を900人程度で実施。 場所：サンポートホール高松 日時：R3.1.10 第1部11：00～ 第2部13：00～ 第3部15：00～ 対象者数：4,412人 出席者数：2,336人	出席率	56.4%	52.9%	B	有	新型コロナウイルス感染症によって、出席者が減少したと思われる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の状況に応じて対策を検討していく。	生涯学習課
109	VI	1	(1)	PTA地域活動促進事業	市	地域ぐるみ、市民ぐるみの子どもの健全育成を促進するために高松市PTA連絡協議会への活動を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業及びメール配信事業の補助金を支出（運営事業：6月・10月、メール配信事業6月）	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	-	生涯学習課
110	VI	1	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付。 協議会等の会合は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面にて開催。	会員数	10人	10人	A	無	会員数は前年度から変化なし。 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が軒並み中止になった。今年度も同様の状況が考えられるが、感染対策の徹底等の方策を検討する必要がある。	生涯学習課
111	VI	1	(1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	掲載内容の充実、年間アクセス件数	80,189件	55,509件	C	有	令和2年度より広報誌が月1回の発行になったため、更新回数が増えたこと、イベント等の中止によりアクセス数が減少したと思われる。 今後とも利用者がわかりやすく見やすいホームページを作成するとともに生涯学習課の小・中学校の配布物にきっずの森のPRを記載すること等を検討する。	生涯学習課
112	VI	1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした各種講座を開催した。	生涯学習センター開催講座参加人数	7,589人	3,483人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後も、社会情勢に応じた市民のニーズに応じた講座の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター
113	VI	1	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で講演会を開催し、その内容をYouTubeで配信した。	講演受講者	511人	3人 YouTube配信 視聴回数約1,000回	評価不可	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、1回のみで開催となったが、YouTube配信をしたことにより、多くの方に視聴いただけた。今後も、高松大学・高松短期大学と連携し、市民に役立つ各種講演会の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
114	VI	1	(1)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を実施した。	同好会登録団体数	1,139団体	1,128団体	B	無	前年度とほぼ同数の同好会登録団体数であった。今後も、引き続き同好会に対する減免制度を実施し、地域における更なる生涯学習の推進に努める。	生涯学習センター
115	VI	1	(1)	コミュニティセンターだよりの発行(生涯学習関連)	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	発行施設数	52施設	52施設	A	無	前年度と同数の施設において「コミュニティセンターだより」で多彩な情報を紹介できた。今後も、引き続き「コミュニティセンターだより」で地域における生涯学習に係る情報の提供に努める。	生涯学習センター
116	VI	1	(1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行した。	「まなびかんづめ」配布箇所数	39ヶ所	39ヶ所	A	無	前年度と同様、39ヶ所に「まなびかんづめ」を配布できた。今後も、引き続き新たな配布先の開拓を検討する必要がある。	生涯学習センター
117	VI	1	(1)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報など各種生涯学習情報を発信した。	HPアクセス件数	76,794件	78,074件	A	無	前年度を上回るホームページのアクセスがあった。今後も、引き続きホームページで市民にとって興味を持ってもらえる各種生涯学習情報等の発信に努める必要がある。	生涯学習センター
118	VI	1	(1)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコンやスマホ、タブレットなどに関する講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する講座を開催した。	IT講座開催回数(講座数)	124回	82回	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。パソコンの操作については、機種の入替わりが頻繁に行われることから、機種の更新に合わせた講座の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター
119	VI	1	(1)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信した。	まなびCAN、Eメールサービス登録者数	317人	331人	A	無	前年度を上回る登録者に対して、講座情報等を発信した。今後、更なる登録者を増加させるための方策を検討する必要がある。	生涯学習センター
120	VI	1	(1)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	延べ23コミュニティセンターで開催し、延べ590人の参加があった。	参加者数	1,476人	590人	C	有	限られた経費で市民に対し人権問題を考える機会を継続的に提供している。人権教育市民講座が各団体において毎年開催されるよう、引き続きホームページや他の情報媒体を利用して、情報提供を行っていく必要がある。	人権教育課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
121	VI	1	(1)	スマイルフェスティバルinたかまつ	市、人権尊重都市たかまつ市民会議（共催）	人権意識の普及・高揚を図るため、人権をテーマとした公演やパネル展、幼児・児童生徒・保護者・企業等によるステージ発表などを内容とするイベントを開催する。	令和3年1月23日にサンポートホール大ホールで開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から丸亀町グリーンけやき広場に場所を変更し、最終的にはそれも中止となった。	参加者数	800人	0人	D	有	令和2年度はイベント自体を中止したことにより、イベント参加者数をベースとした評価ができなかった。今後は開催場所の検討及びイベント開催時間全体を通して一定の参加者数を維持できるようプログラムの見直しなど内容の改善を図る必要がある。	人権教育課
122	VI	1	(1)	人権教育研修事業	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	2市こども園、12市立幼稚園、27小学校、10中学校、1高等学校で開催し、延べ8,931人の参加があった。	参加者数	24,039人	8,931人	C	有	全ての市立子ども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校でPTAを対象とした講演会等を開催している。子どもに対する人権教育をより効果あるものとするため、今後も事業の継続が必要である。	人権教育課
123	VI	1	(1)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年消防クラブ連絡協議会（補助）	幼少年齢から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	令和2年度末において、結成クラブ数は幼年消防クラブ54クラブ、少年消防クラブ19クラブとなっている。	消防クラブ結成数	幼年消防クラブ 54クラブ 少年消防クラブ 19クラブ	幼年消防クラブ 54クラブ 少年消防クラブ 19クラブ	A	無	令和2年度において、結成クラブ数に増減はなかった。各行事を充実させ、クラブ数の維持及び増加を目指す。	予防課
124	VI	1	(1)	菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	全小・中学校において、読書活動や道徳科、学級活動の時間等、学校の実態に応じて機会を設けて実施した。	市内全小中学校で実施	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	A	無	菊池寛の生き方に触れるとともに、その作品を読み親しむ活動を通して、自己の生き方を考え、自らの夢を描き、高い志をもつ機会となった。	学校教育課
	I	2	(8)											
125	VI	1	(1)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間5回（9、10、11、1、3月）実施 《登録者数》 ●受講生：35人 ●ボランティア：51人	利用者の満足度	受講生：92.6% ボランティア：84.9%	受講生：93.6% ボランティア：80.2%	B	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3回（5～7月）は中止し、5回（9～3月）は受講生を分けて午前・午後の2回ずつ実施した。（ボランティアは午前・午後の2回とも参加。） 令和3年度は、全7回（5～2月）を新型コロナウイルス感染症対策として、定員縮小・時間短縮・各回1回の方法で実施する予定。（5月「第1回目」は中止。）	生涯学習課
	VI	1	(2)											
126	VI	1	(1)	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供した。	参加者数	84,207人	50,660人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後とも、各地域のニーズに応じた学習機会を提供する方策を検討する必要がある。	生涯学習センター
	VI	2	(1)											
127	VI	1	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR（企業の社会的責任）という考え方に基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR（企業の社会的責任）という考え方に基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催した。	企業による社会貢献（CSR）講座の参加者数	780人	376人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後とも、企業や個人事業者に生涯学習における企業等の社会貢献を進める場として当該センターを広く周知し、多様な講座の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター
	VI	2	(1)											

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
128	VI	1	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催した。	連携事業による講座の参加人数	768人	554人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後も、公的機関等との連携を密にし、幅広く各種の講座の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター
	VI	2	(1)											
129	VI	1	(2)	多様な主体との連携事業	市	本市の行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、地域の人的・知的資源であり、本市と包括協定を締結する大学等と、多分野・多面的に連携事業を推進する。	大学・企業等多様な主体と多分野で様々な連携事業を実施したほか、新たに、生活協同組合コープかがわ及び第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結し、更なる連携の推進に努めた。	多様な主体との連携実施事業数	168事業	159事業	B	有	新型コロナウイルスの影響により、多くの連携事業の実施に影響が生じた。今後も複雑化する行政課題の解決を図るため、引き続き、大学・企業等多様な主体との連携を推進する必要がある。	政策課
130	VI	1	(2)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	継続事業2事業を実施。 継続①いのち支えあうプロジェクト香川：「動画による在宅ケアの啓発事業」 継続②わがごと：「コミュニティプランの見直しを支援する」 各事業関係課及びアドバイザーとの協議をきめ細かに実施したことにより、事業のブラッシュアップが行われ、より効果的な取組につながった。また協働事業への取組に対する理解も深めることができた。	協働企画提案事業採択数	4事業	2事業	C	無	財政保全プロジェクトの決定により、R3年3月末をもって事業中止	男女共同参画・協働推進課
131	VI	1	(2)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	・活動支援講座（会計・労務等） 11回 73人 ・活動紹介講座（みどりを楽しむ教室等） 20回 177人 ・高松市まちづくり学校（地域づくりチャレンジ塾） 6回 167人 ・みんなの学縁祭 1回 51人 ・みんなでみんなの（和い輪いかい） 2回 180人	センター来館者数	23,043人	10,263人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館、会議室貸出の人数制限等を実施したことにより利用者は減少した。 ・各種講座の実施（活動支援、活動紹介等） ・NPO法人認証等事務に関する相談等 ・高松市まちづくり学校 ・情報収集及び発信（情報誌、HP、FB等）	男女共同参画・協働推進課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
132	VI	1	(2)	シルバー人材センター事業	(公社) 高松市 シルバー人材セ ンター（補助）	高松市シルバー人材センターにおいて、 働く意欲のある高齢者の就業機会を増大 し、社会参加と生きがいづくりを促進す る。	【技術群】 受注件数 11件 【技能群】 受注件数 3,242件 【事務群】 受注件数 71件 【管理群】 受注件数 196件 【一般作業】 受注件数 6,796件 【サービス】 受注件数 7,198件	業務受注件数	19,305件	17,514件	B	有	受注件数は減少傾向となっているが、高 齢者の生きがいづくりや健康づくりなど を目的に就業機会を与えることができ た。受注件数と同様にシルバー人材セン ターの会員数がここ数年、減少傾向と なっており、受注の維持・拡大の視点か ら会員の確保は課題となっている。会 員の維持・拡大に向け、新たな施策の展 開など加入促進に努める。また広く市民 を対象に、シルバー事業への理解と協力 を得るため、効果的な普及・啓発活動の 検討を行う。	長寿福祉課
133	VI	1	(2)	「ため池守り隊」市民活動支 援事業	市民活動団体 （補助）	自然環境保全のため、非農家も参加し、 ため池の清掃活動等を実施する団体に補 助金を交付する。	13か所	実施か所数	17か所	13か所	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症 の影響により中止した活動団体があっ たため、実施箇所数が前年度を下回っ た。前年度から引き続き活動をしている 団体については非農家も参加し、自然環 境保全に役立った。引き続き、市ホーム ページや広報で周知を行い、新規活動組 織の増加に努める。	土地改良課
134	VI	1	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボラン ティアガイド協 会（補助）	観光客等の利便を図るため、市内の歴 史・文化・自然・物産などを紹介するボ ランティアガイドを育成する。	市内（屋島山上・玉藻公園内）2か所 で、ボランティアガイド事業を実施し た。 また、高松短期大学と連携し、屋島山上 で大学生による学生ガイドを実施した。 既存ガイドに活気をもたらすとともに、 大学生にガイドを行ってもらうことで、 屋島に興味を持ってもらうことができ た。	観光ボランティアガイド 件数	2,224件	1,109件	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響によ り、ガイドを休止した期間もあったた め、全体的にガイド件数は大幅に減少し た。 会員の高齢化が問題となっているため、 若返りを図ることを目的に学生ガイドを 実施し、お客様アンケートからも、7割 以上のお客様が満足・やや満足との回答 であり、好評をいただいている。 今後は、引き続きガイド募集を積極的に 行い、若年層の入会を促進する必要がある と考えられる。	観光交流課
135	VI	1	(2)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫 遊帖実行委員会 （補助）	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観 光資源を発掘し、市民主体で企画・運営 する。まち歩きガイドを実施し、観光客 の誘致を図り、まちの活性化につなげ る。 また、動画配信サービスを活用してのま ち歩きを行い、自宅にいながらも、ま ち歩きを体験できるといった、新しい形 での体制を整えた。	例年どおり春編及び秋編の2種類のまち歩 きパンフレットを作成し、各市民ツアー プロデューサーによるまち歩きの催行を 実施した。 また、動画配信サービスを活用してのま ち歩きを行い、自宅にいながらも、ま ち歩きを体験できるといった、新しい形 での体制を整えた。	まち歩き参加率	75%	28%	C	有	全体の参加率については、新型コロナウ イルスの影響で、春編のコースが28コー ス中、24コースが中止したことにより、 大幅な参加者減少に伴って低下したが、 中止が無かった秋編については、8割以上 の高い参加率を誇っており、市内におけ るまち歩きツアーの需要の高さが伺え る。 また、今回から動画配信サービスを活用 したまち歩きや、WEBを使ったアンケー ト集計のような、新しい形の体制を整え ており、今後も積極的にWEBやSNS を活用した広報活動や、動画配信サー ビスを活用した取り組みなどが必要である と考えられる。	観光交流課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
136	VI	1	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動（企画展・収蔵品展でのミュージアムトーク、資料整理、チラシ等発送準備）、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解読・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動（企画展・収蔵品展でのミュージアムトーク）、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解読・データ化等を行った。	参加人数	延べ179人	延べ76人	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止したこともあり、参加者数が前年度を下回った。今後も事業内容を検討し、充実した資料館の運営に努めていく。	文化財課 （歴史資料館）
137	VI	1	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	特別展において美術館ボランティアによるギャラリートークを実施した。	c i v i lギャラリートーク参加者数	実施回数30回 参加者数576人	実施回数14回 参加者数337人	C	有	新型コロナウイルス感染症対策のため、中止にした特別展もあり、実施回数及び参加者数は大幅に減少した。今後、同事業の感染症等への対策を講じて開催する必要がある。	美術館美術課
138	VI	1	(2)	たかまつこどもサミット	教育委員会・高松栗林ライオンズクラブ	高松市内の小学校児童（4校程度）が各校で調査・研究した結果をテーマに基づき発表し、また、各校からの発表について子どもたちや大人が共に考え、話し合うとともに、提言を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止 高松栗林ライオンズクラブ（共催）から、過去出演校（11校）に対して、花の栽培セットを寄贈。	参加者数	200人	—	D	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	生涯学習課
139	VI	1	(2)	学習成果発表の場事業	市	市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催した。	市民の学習成果発表の場としての講座開催回数（講座数）	19回	9回	C	有	講座の開催回数は、昨年度と比較して発表者の都合や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため減少した。今後も、当該事業を市民等に広く周知し、新たな発表者を開拓する必要がある。	生涯学習センター
140	VI	1	(2)	よみきかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、 「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「子ども読書まつり」が中止になるなど多くのイベントが中止になったが、「夏のおたのしみ会」「冬のお楽しみ会」等で計3回の読み聞かせ活動等を行った。	派遣回数	11回	3回	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で図書館内のイベントが活動の中心となった。 今後は、メンバー養成の場としての比重を高めることを重視し、活動内容を検討することも必要である。	中央図書館
141	VI	1	(2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	④地域づくりチャレンジ塾最終報告会 「みんなの学縁祭」 令和3年2月20日（土） 太田コミュニティセンター 参加者51人	交流会（意見交換会）参加人数	117人	51人	C	有	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、原則、オンライン開催とした。 令和3年度については、開催時間を短縮する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。高松市まちづくり学校実行委員会を中心に、市民活動団体、地域コミュニティ協議会関係者等、地域づくりに関わる多様な人たちの連携・交流の場として、「みんなの学縁祭」を開催する。	男女共同参画・協働推進課
	VI	1	(1)											

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容(実績)	評価指標				※新型コロナウィルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
	種別	分野	項目					指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
142	VI	2	(1)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、 ①老朽化に伴う改築②長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、この2点を柱とした中期整備指針等に基づき施設整備を行う。	【①川岡】 旧施設解体工事(完了)、屋外倉庫・外構工事(着手) 【②太田】 改築工事(完了) 【③屋島】 修正設計(完了)、既存コミ解体工事・コミ改築工事(着手) 【④十河】 改築実施設計(完了)、造成工事(完了) 【⑤男木】 改築工事(着手) 【⑥川島】 改築実施設計、解体工事(完了)、埋文調査(繰越) 【⑦トイレ男女別化改修工事】 屋島西、襦紙(着手)、木太北部(未契約、R3へ繰越)	コミュニティセンター中期整備指針等に基づく整備箇所	1施設(川岡コミ)	1施設(太田コミ)	A	無	中期整備指針等に基づき、計画的な整備を行い、地域のまちづくり拠点づくりに努めることができた。	地域振興課
143	VI	2	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか3館(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館)の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか3館(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館)の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	収蔵資料数	67,721点 (4館合計)	68,408点 (4館合計)	A	無	前年度より寄贈点数が減少したが、必要な資料の受入れができた。今後も十分に精査した上で、必要な資料収集を行い、適正な資料館の運営に努めていく。	文化財課 (歴史資料館ほか)
144	VI	2	(1)	資料館資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具等の展示・紹介、出前トーク、学校授業等での教育普及活動(資料活用)を行う。	歴史資料館等施設での民具等の展示・紹介を行った。	実施回数	3回 (ロビー展1展含む。)	4回 (ロビー展)	A	有	新型コロナウイルス感染症の影響で出前トーク等の依頼はなかったが、ロビー展示の回数を増やし、充実した資料活用ができた。今後も広報活動に努めるとともに、積極的な資料活用に努めていく。	文化財課 (歴史資料館)
145	VI	2	(1)	収蔵品システム運営事業	市	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館・菊池寛記念館・埋蔵文化財センター・美術館・塩江美術館・平和記念館)の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館・菊池寛記念館・埋蔵文化財センター・美術館・塩江美術館・平和記念館)の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。	登録件数	152,007件	155,695件	A	無	各館で積極的なデータ化に努め、前年度を上回る登録数となった。今後も積極的なデータ管理に努め、インターネットでの情報公開に努めていく。	文化財課 (歴史資料館ほか)
146	VI	2	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を10点購入した。	美術品収集点数	54点	10点	C	無	前年度は寄贈が43点あった為、収集点数は大幅に減少したが、寄託で預かっていた作家の代表的作品をはじめ、優れた作品を収集することができた。今後も引き続き優れた作品収集に努める。	美術館美術課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
147	VI	2	(1)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための各種講座を開催した。	生涯学習推進員および参加者数	401人	274人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後も引き続き生涯学習推進員を対象とした各種講座を開催し、更なる知識・技能の向上につなげる必要がある。	生涯学習センター
148	VI	2	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	貸出件数	40件	7件	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、貸出中止となったことなどから貸出件数が減少した。今後も、視聴覚教材・機材等を貸し出していることを市民に対して周知する方法を検討する必要がある。	生涯学習センター
149	VI	2	(1)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された講演等の内容要旨や講座風景などの情報を「学びCANレポート」でホームページで公開した。「インターネット塾」については新型コロナウイルス感染症防止対策のため、予定していた講座が中止となったため、公開できなかった。	「インターネット塾」掲載講座数	2講座	0講座	D	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、予定していた講座が中止となったことにより、新たな講座については公開できなかったが、これまでの講座を掲載することにより、生涯学習の推進に寄与している。引き続き、新規講座や講演等を、積極的にホームページで公開することにより、講座の受講者の増加につなげる必要がある。	生涯学習センター
150	VI	2	(1)	図書館等資料整備事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料（図書・雑誌・新聞・AV資料等）・情報の収集・提供を行う。	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料（図書・雑誌・新聞・AV資料等）・情報の収集・提供を行った。	資料整備費	72,963,402円	64,618,356円	B	無	予算削減のため、図書購入実績は減少したが、令和2年度は選書会を開催し、副本率を下げるなど、より図書館の資料としてふさわしい選書ができるようになった。厳しい財政状況の中、引き続き、選書会や各館の選書担当者話し合いながら、副本率を下げるなどの工夫をし、魅力的な書架づくりをめざすとともに、各種資料・情報の収集・提供に努める。	中央図書館
151	VI	2	(1)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、巡回を一時休止したほか、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、車内の利用人数を制限して実施した。	図書等の貸出数	121,689冊	97,719冊	B	有	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時巡回を中止したり、小学校等に3密防止を依頼するなどして実施したため、貸出冊数が前年度を下回った。令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	中央図書館

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	R2年度 事業内容（実績）	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と今後の課題	課名
								指標名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	評価			
152	VI	2	(1)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行う。	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行った。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時期長時間を要するレファレンスは中止した。	図書館に問合せのあったレファレンス件数	13,222件	11,912件	B	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時期長時間を要するレファレンスは中止した。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、場合によっては長時間を要するレファレンスは中止せざるを得ない。	中央図書館
153	VI	2	(1)	図書館のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため図書館を休館した時は、予約サービスを停止した。	インターネットでの蔵書図書等の予約件数	254,253件	273,236件	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大のため一時期予約サービスを停止したが、来館して探すことより、ホームページで本を予約する人が増えたため、実績は増大している。	中央図書館
154	VI	2	(1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるよう映画上映会のほか、英会話など関心の高い趣味・教養分野の講座を開催した。	市民の関心の高い講座や映画会の参加者数	2,049人	1,023人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったことなどから参加者数が減少した。今後も、幅広い年齢層の市民が気軽に参加しやすい講座の開催を検討する必要がある。	生涯学習センター
	VI	1	(1)											
155	VI	2	(1)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料などの学習情報の収集・提供をした。	登録者数	738人	738人	A	無	前年度と同数の登録者数を確保することができた。新たな学習活動を支援する人材発掘のための方策やより効果的な情報提供を検討する必要がある。	生涯学習センター
	VI	1	(1)											
156	VI	2	(1)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書（本のソムリエ）を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	団体等からの要請に応じ、図書館司書（本のソムリエ）の派遣を5回実施した。	ソムリエの派遣回数	8回	5回	C	有	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、派遣要請数が減少した。 「コロナ後」における新規派遣希望団体の確保が課題である。	中央図書館
	VI	1	(1)											
157	VI	-	-	生涯学習をしている人の割合（市民意識アンケート調査）	市	-	-	生涯学習をしている人の割合（市民意識アンケート調査）	(評価不可)	-	評価不可	無	-	生涯学習課
158	VI	-	-	ボランティア活動に参加した人の割合（市民意識アンケート調査）	市	-	-	ボランティア活動に参加した人の割合（市民意識アンケート調査）	(評価不可)	-	評価不可	無	-	生涯学習課
159	VI	-	-	図書館図書市民一人あたり貸出冊数（年間）	市	-	市民の教育・文化の情報拠点として市民に役立つ図書館づくりを目指し、多くの方に利用していただいたが、一時期新型コロナウイルス感染症拡大に伴い図書館を休館した。	図書館図書市民一人あたり貸出冊数（年間）	6.66冊	5.90冊	B	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時図書館を休館したり、閲覧等のサービスを休止したことがあったため、貸出冊数は減少した。 今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら利用者数を増やしていくのが課題である。	中央図書館